

演題名	管内複数農場で発生した牛伝染性鼻気管炎 (I B R) について		
発表者 氏名	塩入 哲	所属	伊那家畜保健衛生所
<p>2003年4月から6月に、管内4農場(A～D)で呼吸器症状を呈す牛が散発。Aで1頭が死亡、Dで流産1頭が発生。発症牛の鼻腔拭い液(A～D)、ペア血清(A、C、D)、及び死亡牛(A)について病性鑑定を実施した結果、A～Cの鼻腔拭い液で牛伝染性鼻気管炎(以下IBR)ウイルスを分離。A、C、Dのペア血清でIBR中和抗体の有意上昇を確認。Aの死亡牛からIBRウイルスを分離。Aについては他のウイルス抗体の有意上昇なども認めれたことからIBR感染を伴う複合呼吸器感染症、B～DについてはIBRと診断。全戸についてワクチン接種等の対策を実施。感染源として、A、B、Dは発生直前の導入牛、Cは導入が無く、Bと隣接しており畜主の往来による人的な持ち込みを示唆。全戸とも的確なワクチン接種を行っておらず、これが重要な発症要因と推察。本病の性質上、特に発生農場においては継続したワクチン接種が必要と考察。</p>			